

花束とラッピングと私

花き装飾コース

1. はじめに

花束を制作する際、花選びやラッピングすることが苦手なため時間がかかってしまう。就職後の即戦力となるように素早く花束やラッピングを制作できるように、何度も制作を重ね、技術向上を目指した。

2. 方法

花束はラウンドで仕入れ価格 2,000 円～2,500 円で制作をする。色はイエロー系とピンク系の同系色、補色、類似色とする。ラッピング方法は一方見、四方見とし、方法や素材、印象の違いを比べる。

3. 制作

(1) 花束

	改善前	改善後
類似色		
指導点	<ul style="list-style-type: none">・先端が尖っているヤリケイトウを離して配置するとバランスが悪い →グルーピングした方が良い・スパイラルの組む位置を低くする →ボリューム感が出る・ビビットトーンとペールトーン(クリーム色の SP バラ)は合わない →ビビットトーンに統一することでまとまり感が出る	

	改善前	改善後
同系色		
指導点	<ul style="list-style-type: none">・スイートピーなどの軽い印象の花やグリーンをアウトラインより出す →立体感が出る・不等辺三角形になるように花を配置する →ナチュラルな印象になる・白色の花を足すことで花色がはっきりする	

(2)ラッピング

		
<p>不織布(ピンク×薄ピンク)×サテンリボン(薄ピンク)</p> <p>薄い色を足すことで花束が目立つ 可愛い印象になった</p>	<p>リセ柄(ピンク)×不織布(薄ピンク)×オーガンジーリボン(ピンク)</p> <p>オーガンジーリボンによって可愛い印象になった</p>	<p>ワックスペーパー(ワインレッド)×サテンリボン(ワインレッド)</p> <p>ダルトーンでまとめたので大人っぽい印象になった</p>

		
<p>ワックスペーパー(オレンジ)×ネット(黄)×ラフィア(クリーム)</p> <p>自然素材のネットとラフィアでナチュラルな印象になった</p>	<p>不織布(オレンジチェック)×英字セロハン×ラフィア(黄)</p> <p>柄物同士はまとまり感が無い</p>	<p>不織布(チェックピンク、ピンク)、英字セロハン×ブリボン(ピンク)</p> <p>無地の不織布を間に入れることでまとまり感が出た</p>

4. まとめ

はじめは立体感やボリューム感のないかっちりとした花束しか作れず苦戦した。しかし、制作を繰り返すことで立体感やボリューム感を出すことができた。また、トーンを考えて花材選ぶ必要があると分かった。

ラッピングでは、同じ花束でも色や素材、柄によって「可愛い」「大人っぽい」「ナチュラル」など異なる印象になることを学ぶことができ、レパートリーを増やすことができた。

この経験を活かし、就職後も努力を重ね、お客様が求める花束をつくり、笑顔をお届けできるようなフローリストになりたい。